

第4章 協働を進めるために

『協働のまちづくり』を進めていくためには、その担い手である市民や行政の「意識改革」と、その実践に向けた「環境の整備」が大切です。

そのため、次の5つのプロセスを設定し、市民と行政がこれらを踏まえながら共にまちづくりに取り組むことで、より良い形の協働を目指します。

プロセス1：情報を得る（知る）

市民に対し『協働のまちづくり』の意識の啓発と、那須塩原市をより知ってもらうため、情報の収集や発信を行います。

(1) 『協働のまちづくり』情報の収集・発信

- (例) ◆リーフレットの作成
◆インターネット掲示板やSNSの活用...など

(2) 市政情報の収集・発信

- (例) ◆パブリックコメント制度※1の活用
◆広報紙・ホームページの充実...など

(3) 地域情報の収集・発信

- (例) ◆広報紙・ホームページの充実
◆各種団体が発行する機関紙の充実
◆ボランティアに関する情報の提供
◆ボランティア・市民活動・NPO見本市（仮称）の開催
◆情報の収集・発信の新たな仕組みづくり...など

〔用語の説明〕

※パブリックコメント制度：市の基本的な計画・指針などを策定するときに、その案の内容や、その必要な事項を公表して意見を募集し、提出された意見を考慮して計画などを定めると共に、意見に対する市の考え方を公表する一連の手続き。

プロセス2：意識を高める（学ぶ）

『協働のまちづくり』に取り組む市民が自ら学び、人材を育てる仕組みづくりを進めます。

(1) 情報交換の「場」をつくる

- (例) ◆シンポジウムの開催
◆ワークショップ※1の開催
◆市民討議会の開催...など

(2) 「協働」を体験する仕組みをつくる

- (例) ◆リーダー養成講座の開催
◆ボランティア体験講座の開催...など

(3) 人材を活用する仕組みをつくる

- (例) ◆公募委員の拡充
◆人材登録制度の創設
◆アドバイザー派遣制度の創設...など

〔用語の説明〕

※ワークショップ：問題解決やトレーニングの手法の1つ。地域にかかわるさまざまな立場の人々が自ら参加して、地域社会の課題を解決するための改善計画を立てたり、進めていく共同作業とその総称。住民参加型の活動形態の一つ。

プロセス3：夢を描く（集う）

『協働のまちづくり』が活発に行われるように、市民への支援を行うと共に、行政内部においても、職員が積極的に地域活動に参加するための意識改革などにも取り組めます。

(1) 市民の組織機能を強化するための支援

- (例) ◆各種助成制度の情報提供
◆市民への運営支援の検討...など

(2) 相互交流のネットワーク化

- (例) ◆人材登録制度の創設
◆交流広場の開設
◆インターネット掲示板やSNSの活用...など

(3) 市職員の市民団体活動などへの参加推進

- (例) ◆『協働のまちづくり』に関する研修の実施
◆マニュアルの作成...など

プロセス4：夢を実現させる（創る）

人々が思い描く、それぞれの理想のまちを実現するため『協働のまちづくり』を推進します。

(1) 市事業への「協働」の導入推進

- (例) ◆『協働のまちづくり』マニュアルの作成
◆行動計画の策定...など

(2) 市民が実践する「協働」事業の推進

- (例) ◆市民活動などに必要な場所・設備・人材の提供
◆イベントボランティア隊の創設
◆協働のまちづくり市民保険制度創設の検討
◆コミュニティファンド※や基金など活動に対する支援制度に係る事例研究
◆車座談議の充実
◆市民提案型協働のまちづくり支援事業の創設
◆まちづくりアイデア提案(市民版)制度創設の検討...など

(3) 『協働のまちづくり』推進体制の確立

- (例) ◆協働のまちづくりの普及・啓発
◆協働のまちづくり施策に関する調査・研究・提言
◆提案型協働のまちづくり支援事業の審査及び成果の検証...など

〔用語の説明〕

※コミュニティファンド：地域が抱える様々な課題解決に取り組む民間事業に対して、地域の生活者が出資をして作るファンド(資金)のこと。

プロセス5：成果を振り返る（確かめる）

『協働のまちづくり』に取り組んだ結果や成果がどうだったのかを評価します。その評価に基づき見直しを行い、次の事業実施の計画づくりに役立てていきます。

(1) 『協働のまちづくり』事業の検証

- (例) ◆協働のまちづくりの普及・啓発
- ◆協働のまちづくり施策に関する調査・研究・提言
- ◆提案型協働のまちづくり支援事業の審査及び成果の検証..など

- (例) ◆行動計画の進行管理

(2) 評価・公表するガイドラインの確立

- (例) ◆評価・公表に関するガイドラインの作成
- ◆評価制度マニュアルの作成
- ◆評価シートの整備..など

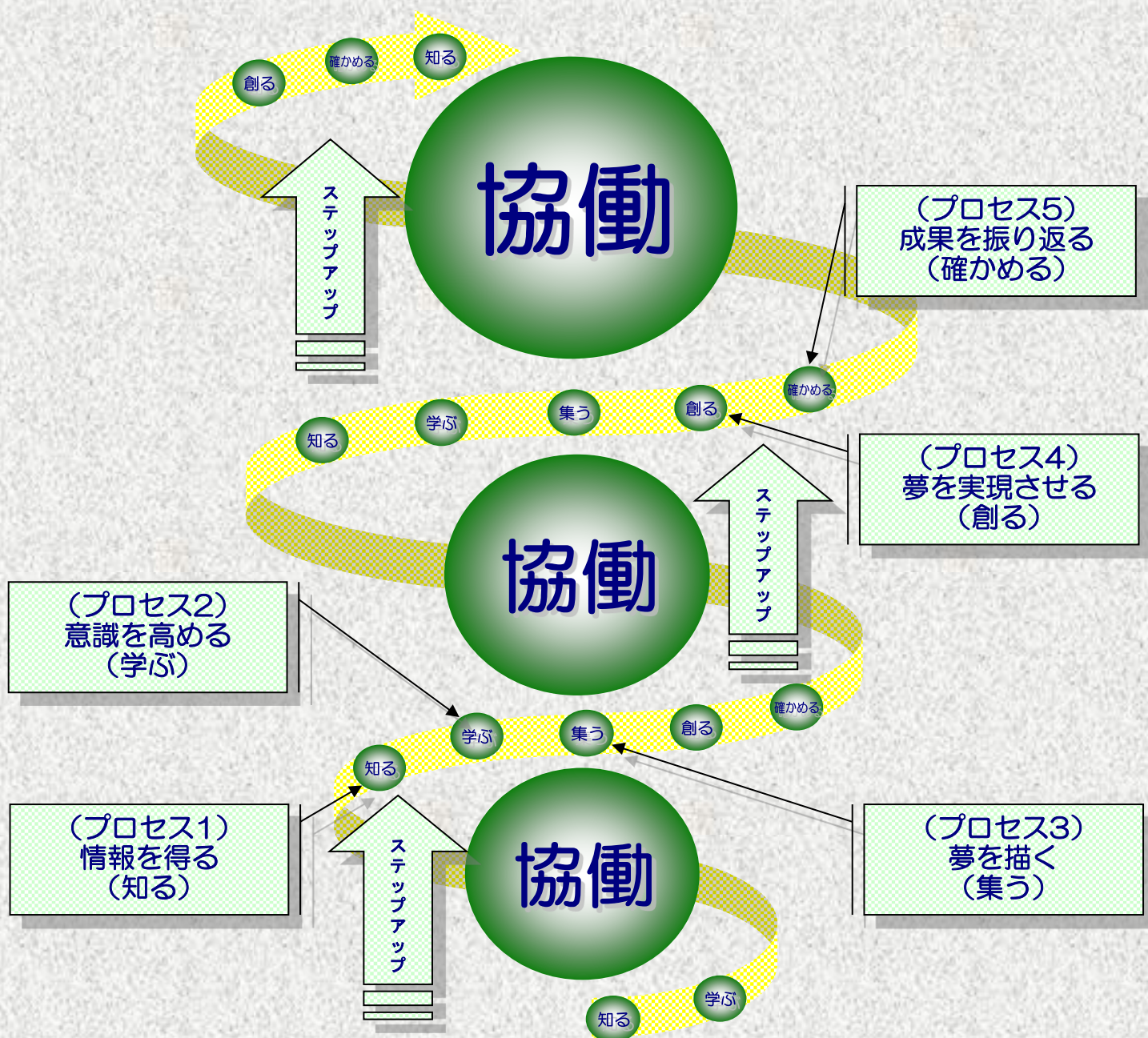
(3) 市民意向の把握

- (例) ◆事業実施における参加者などを対象としたアンケート調査の実施..など

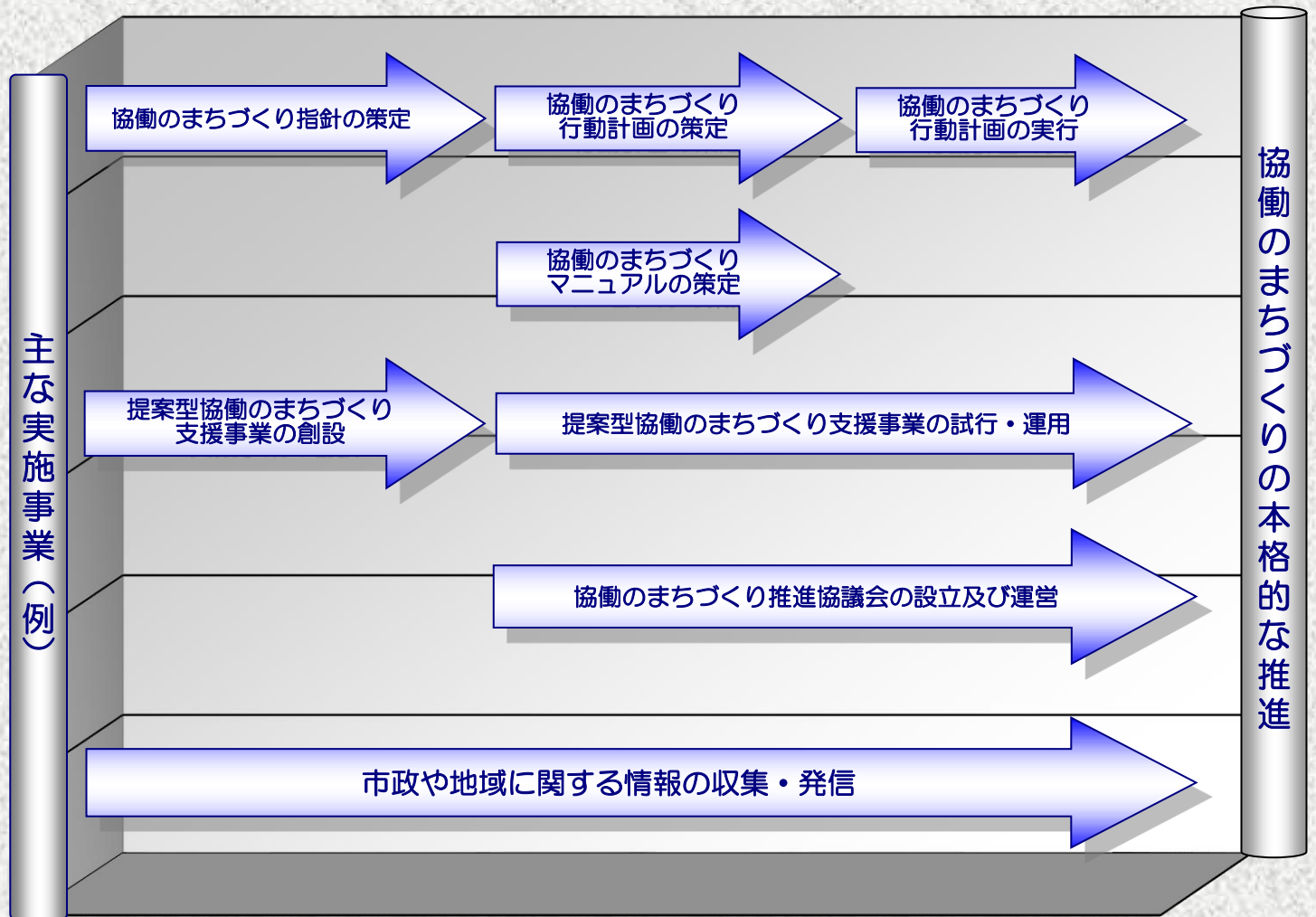
「協働」による取り組みを推進していくための5つのプロセス

『協働のまちづくり』においては、その取り組みへの「きっかけづくり」から「実践」、取り組みの「検証」までを1つのサイクルとして行うことが大切です。

そして、このようなプロセスを繰り返していくことで、『協働のまちづくり』がより良い形へとステップアップし、普及・定着していくものと考えています。



今後の事業展開（イメージ）



『協働のまちづくり』の本格的な推進に向けて、様々な取り組みを継続的、かつ計画的に進めていきます。